



宮崎県議会議員  
田口ゆうじ  
議会だより

# きおな

第12号 平成22年8月 新みやざき発行



広報 新みやざき  
http://www.shin-miya.com

2010年8月発行

第2号

県政報告

連日猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃からのご厚情に心からお礼を申し上げます。さて、4月20日の口蹄疫の発生以来、本県に未曾有の激震が走りました。6月30日までにワクチン接種分を含む約29万頭、県全体の4分の1にも上る家畜の処分が行われました。ようやく、7月27日には移動及び搬出制限の県下全域の解除、また非常事態宣言も併せて全面解除されました。しかし、この間本県の受けたダメージは計り知れなく、宮崎大学の根岸准教授の試算では、発生前の生活水

準に戻るまで3～5年かかり、今年度だけでも経済損失は426億円にもなると試算しています。本県の再生、復興に関して、国にしっかりと手立てを要望してまいります。

さて、今年は全国各地にゲリラ豪雨が猛威をふるっていますが、これから台風の時期を迎えます。口蹄疫で県内が疲弊している時に、台風被害が発生しないことを願いつつ、日々研鑽に努めて参ります。引き続き叱咤激励を宜しくお願いします。

## トピックス

### 高速道の無料化、一部開通について

6月18日の高速道路無料化に続き、7月17日東九州自動車道の高鍋～西都(12.1km)が開通しました。県内の無料化路線は飛躍的な交通量になっており、延岡南道路の無料化で土々呂地区の国道10号線の通行量も激減し、長年の懸案であった渋滞が解消されました。日向～門川間(14km)も年内開通が予定されております。

### 延岡市議会の地域医療対策特別委員会と延岡市選出の県議との意見交換会



県立延岡病院をはじめ、医療問題について意見交換しました(7月14日 県議団を代表して挨拶)



県北少年少女ソフトボール大会で顧問として挨拶(西階サブグラウンド)



県北地区同盟の家族ぐるみ大運動会(レオナグラウンド)

### プロフィール

昭和33年12月 延岡市迫内町生まれ  
日本大学法学部卒業、旭化成(株)入社。  
米沢 隆衆議院議員 秘書(延岡・宮崎で11年間)  
平成15年 延岡市議会議員(1期)  
平成19年 宮崎県議会議員  
(主な現職)  
民主党宮崎県連 幹事長  
県議会 厚生常任委員会 副委員長  
県定時制・通信制高校振興会 副会長  
延岡青朋高校振興会 会長  
延岡野球協会・延岡市ソフトボール協会 顧問

## 口蹄疫被害から復興に全力!

7月27日 新みやざき会派は、県民や各種団体から寄せられた口蹄疫被害対策や復興に対する要望をいち早く政府へ伝えるため、要望活動を行いました。

総理官邸や農林水産省、総務省、与党幹事長室を訪れ、農林水産省では現地対策本部長を務められた篠原副大臣と面会。農家の復興支援に向けて意見交換を行いました。

総務省では渡辺副大臣と面会。復興宝くじの新設や本県への交付金措置について要望。また総理官邸では小川補佐官と面会し、商工



口蹄疫関連で関係大臣等に陳情  
延岡市の姉妹都市、旧丸岡町出身の民主党副幹事長の糸川正晃衆議院議員に要望書を

団体の要望の大きい基金の設立やプレミアム商品券への助成をお願いしました。

各省庁とも十分に時間を取っていただき、本県経済や農家の現状など訴えました。

また各副大臣・補佐官の方々から、口蹄疫被害のお見舞いと復興に対して国も出来る限り支援していくとの言葉をいただきました。

一日でも早く元の状態に戻り、安心して生活が再開できるように、これからも新みやざきは県民の声を県政に、国政に届けて参ります!



街頭演説で県政報告(延岡市旭町)

## 6月議会・7月臨時議会のご報告

### 《 6月定例議会 》

6月7日～18日までの12日間開催されました。口蹄疫の発生により、当初の日程より5日間の短縮となり、また期間中に新たな発症があり、その対応に忙殺される当局に配慮し、一般質問は中止いたしました。ワクチン接種後に殺処分される家畜の評価額を全額補償する経費や、畜産の再生に向けた取り組み強化の経費などの426億2153万円の補正予算案等々の議案17件が提出され、審査のうえ、原案の通り全て可決いたしました。この結果、一般会計予算規模は、6,314億9769万円となりました。また、「子宮頸がんの予防対策の充実を求める意見書」等、議員発議の議案4件を可決いたしました。

### 《 7月臨時議会 》

7月20日～22日までの3日間開催、口蹄疫関連に限定した一般質問が行われました。口蹄疫の緊急対策関連予算49億9300万円の補正予算と政府に対する口蹄疫の復興支援対策などを求める意見書の2議案を可決いたしました。この結果、一般会計予算規模は、6,365億2040万円となり、その内一連の口蹄疫に関する予算は、今回の補正予算を含め、総額592億2517万円となりました。すでに延岡市の平成22年度一般会計当初予算536億円を超えています。

県政  
相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

田口雄二

TEL/FAX:0982-26-1945 携帯:090-5021-7729  
住所:〒882-0004 延岡市樫山町3-841-2  
e-mail: gucci.yuji.1203@docomo.ne.jp

# 口蹄疫発生から現在までドキュメント

今回の口蹄疫発生により牛:68,266頭、豚:220,034頭、その他:343頭。

**県全体:288,643頭**(7月4日宮崎市での発生まで)の家畜が処分され、未曾有の大惨事となりました。

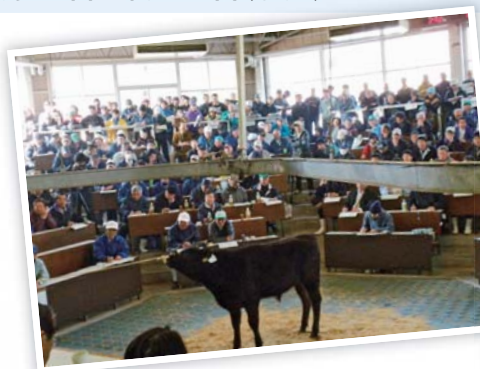
口蹄疫の発生で、甚大な被害を受けました畜産農家や関連する皆様方にお見舞い申し上げます。



発生から現在まで主な動き

※8月1日現在の状況

- 4月 9日 口蹄疫が疑われる肉用牛が発見
- 4月20日 疑似患畜の確認。宮崎県口蹄疫防疫対策本部を設置  
移動制限(10km以内)・搬出制限(10~20km)区域を設定
- 4月23日 疑似患畜1例目を口蹄疫(O型)と確定
- 4月26日 宮崎県議会全員協議会開催
- 4月28日 補正予算(第一号)専決(補正予算額:3,298,839千円)
- 5月 1日 自衛隊への災害派遣要請
- 5月10日 赤松農林大臣来県・知事、議長、農業団体、市町長との意見交換
- 5月12日 補正予算(第二号)専決(補正予算額:209,646千円)
- 5月13日 登録協会のエース級種牛6頭を西都市へ移動
- 5月14日 義援金の募集開始
- 5月15日 疑似患畜の確認(100例目を突破)
- 5月17日 国の現地対策本部を県庁に設置・国県合同の会議(以降毎日朝夕二回)
- 5月18日 宮崎県が「非常事態宣言」
- 5月21日 ワクチン接種の知事・山田副大臣の記者会見。翌日接種開始
- 5月24日 疑似患畜の確認(200例目を突破)
- 5月28日 臨時議会・補正予算(第三号)(補正予算額:8,101,676千円)
- 6月 1日 鳩山総理来県・知事、議長、JA、生産者との意見交換
- 6月 4日 「口蹄疫対策特措法」の公布・施行
- 6月 7日 6月議会・補正予算(第四号)(補正予算額:42,621,530千円)
- 6月12日 菅総理来県・農家訪問・知事、議長、JA、市町長との意見交換
- 6月28日 県に復興対策本部が設立
- 6月30日 ワクチン接種分全頭処分完了
- 7月 4日 宮崎市で発症(292例目)(7月21日現在の最終発生地)
- 7月17日 民間種雄牛の処分
- 7月18日 児湯郡移動制限解除
- 7月22日 臨時議会・補正予算(第五号)(補正予算額:4,993,479千円)
- 7月27日 宮崎市移動制限解除・「非常事態宣言」解除
- 8月27日 終息宣言(予定)



一刻も早いセリの復活を!  
(昨年のセリの様子)



5月18日/農水省佐々木政務官と面会。  
口蹄疫早期対策の要望書を提出。



5月19日/副知事に口蹄疫申し入れ



6月4日/山田農水副大臣との意見交換



6月12日/菅総理来県(菅総理と)



6月12日/菅総理来県(知事・首長と菅総理)

## 本県経済の復興に向けて意見交換

今回の口蹄疫被害は、畜産関連業以外の方々にも大きな影響を及ぼしました。新みやぎきは本県経済の口蹄疫被害からの復興に向けて、各種団体と意見交換を行い、政府への要望活動(一面参照)を行っております。

主な要望内容

- プレミアム商品券への一部助成
- みやぎブランドの信頼回復の為の支援
- 農業施設(野菜カット工場等の食品加工産業)への支援
- 全国規模の大会やイベント開催の本県誘致・旅行商品への支援
- 公共事業推進による経済対策の実施
- 宮崎ナンバートラックの利用促進への支援・国による風評被害対策
- 中小・零細事業者への事業資金措置
- 埋却地周辺の環境調査への支援



商工会議所との意見交換



トラック協会との意見交換



商工会との意見交換



JA中央会・経済連会長との意見交換

## 豪雨災害

7月2日から3日にかけて一時間に100ミリを超える豪雨により、都城市はじめ県西地域において甚大な被害を及ぼしました豪雨災害は、行方不明者1名、50件を超える家屋や農地に大きな被害を及ぼしました。7月26日 新みやぎき会派では、全員で都城市三水系の災害地を視察。復旧に協力し、頑張っ参ります。



## 「医師不足解消へ!」 自治医大訪問

本県をはじめ、多くの過疎地域に医師を輩出している自治医大を訪問。本県の医師不足や、女性医師の現場復帰について意見交換を行いました。

本県は女性医師の比率が20~30代では高いものの、結婚や出産等で現場を離れた後の職場復帰が難しい現状があります。

自治医大では女性医師支援センターを設置し、女性医師の現場復帰を支援。このノウハウを医療特別委員会



などで活かして参ります。

意見交換終了後、施設内を見学させていただきました。現在は女子学生の割合も増え、広大な敷地に各学年110名ほどが全寮制で学んでいます。

～ お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください ～

《新みやぎき事務所》〒880-8501 宮崎市橘通東2-10-1 TEL.0985-26-7848 FAX.0985-35-2812